

鍼灸統合医療支援システム(MISS)のご紹介

統合医療とは、あらゆる補完代替医療のなかから、現実的継続的に利用出来るものを、患者さんの価値観や様々な背景を勘案しつつ、コーディネートする医療です。そして統合医療には西洋医学的待機による(必ずしも介入ではない)マネージメントが必須です。

日本における統合医療の発展を鑑みたとき、はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師は特別です。国家資格であり、どの地域にも治療院がある。鍼灸マッサージ業界が西洋医学と連携が取れなければ、他の業種が連携をとれるはずがありません。

鍼灸マッサージ師と医師との連携のためには、新たなネットワークの構築が必要です。IMSS は治療院と開業医の間のネットワークのために企画されました。

1) ネットワーク

IMSS は、治療院と一般社団法人日本統合医療支援センターと患者さんの間をつなぐネットワークを提供します。

ネットワークはインターネット回線を用います。未開通の治療院には回線も含めてご提供することを検討しています。独自サーバーを用い、24 時間 365 日保守による万全のセキュリティと危機管理を用意します。

2) タブレット端末

誰でも取扱い説明書を読むことなく操作が可能な操作性を想定しています。タッチパネルで操作可能なタブレット端末ではこれが実現できます。タブレット端末2台(施術者用・患者用)をご用意します。

3) 診療録

連携には記録が必要です。IMSS ではタブレット端末を用いて「患者さんにカルテ入力を手伝ってもらう」ことを実現します。患者さんの主観的な情報は患者さんが自らタッチで入力し、その情報は施術者用端末に転送されます。客観的な情報は施術者がタッチ入力により簡単に入力が可能です。

極力選択入力でカルテが完成することを目指しており、VAS(Visual Analog Scale)をスライダーを指で動かすことで入力できるようにします。

使用した経穴は「3D バーチャル経絡経穴人形」を画面上で拡大縮小グリグリ動かし、経穴名をタッチすることで選択が可能です。「置鍼、雀啄、灸など」行なった施術も指でタッチすることで簡単に記録が可能となります。

4) 診療支援

経穴の情報を経穴名をタッチすることで閲覧することが可能です。バーチャル経絡経穴人形は筋肉や腱などの解剖が見えるようにするため、場所の同定が理解しやすく、学生の学習支援にも役立ちます。症状や疾患で頻用される経穴が串刺し検索でき、日々の診療を支援します。

5) 統合医療支援

診療中に医師に西洋医学的な相談が必要になった場合、鍼灸マッサージに理解のある日本統合医療支援センターの医師にタブレット端末内から相談することができます。地域の開業医への紹介が必要な時には、センターの医師が医師の名前で紹介状を代理作成します。

6) 予約管理システム

インターネットを用いた予約管理システムを内蔵します。患者さんがインターネットのホームページ上から予約することが可能になります。

7) 学術的支援機能

診療録の情報が経時的に Excel などへ出力可能になります。症例報告のためのスライド作成を支援します。診療録の内容は万全のセキュリティ対策を備えたサーバーに蓄積され、業界団体、大学、学会等の大規模臨床研究に提供します。日々の診療の記録をエビデンス構築につなげます。

IMSS は、タブレット端末2台とソフトウェア利用を初期投資なしで、すべて月 4000 円程度のリースで利用出来るように事業計画を進めています。

//////////

織田 聡

一般社団法人日本統合医療支援センター代表理事
Member of AzCIM Alumni Association and J-PIMAA

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-16-5 クレール平河町 801
TEL: 03(5212)1710 FAX: 03(6261)2778